

## 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社EnglishCentral

【ツール名】

EnglishCentral

【ツールの機能分類】

オンライン語学学習

2022年2月





## EnglishCentralの基本的な学習プロセス

### 【動画学習】

#### ①見る

- 字幕のオンオフ
- 動画のスロー再生
- 単語の意味、音声再生



#### ②学ぶ

- タイピング/4択で回答
- 間違えた単語は単語帳へ自動登録



#### ④チャット

- AIが自由発話を判定

#### ③話す

- AIが発音を評価
- 発音の再確認



### 【単語学習】

単語	発音	意味	訳
mistake	ミステイク	間違い	ミステイク
really	リアリィ	本当に	リアリィ
comment	コメンツ	コメント	コメンツ

- 忘却曲線に沿って確実に定着
- 英語を使えるようになる単語リスト
- 苦手が詰まった自分だけの単語帳
- スピーキングでも学習可能

### 【GoLive!】

レッスンピックを選択してください  
レッスン内容は選択されたレッスンピックによって決まります。

- 英語力診断  
自分の英語力をチェックしてみよう
- フリートーク  
興味があるトピックを選択
- 持続可能な開発目標: 健康と福利
- 猫ハウス

K-POP、新型コロナウイルス流行下でも大ヒット



- 質の高い講師陣とのオンライン英会話
- 1回25分のマンツーマンレッスン
- 動画学習で予習をしっかり
- 月最大30回受講可能

## 学校の課題(生徒アンケート)

### 課題1: 英語を好きになるための**動機付け**が必要

Q. 英語は好きか？

好き: **46.5%**※ (理由: 楽しいから、将来役に立つと思うから、分かれると面白いから、等)

→ **53.5%**は**動機付け**が必要

(嫌いな理由: 難しいから、興味がないから、覚えるのが大変だから、授業がつまらないから、等)

### 課題2: **興味**が持てる・**段階的に学習**ができる ツールが必要

Q. 学校の英語の授業で扱う  
内容に興味や関心があるか？

あまりない・ない: **36.2%**※

### 課題3: ほとんどの生徒は、英語を学んでいても**学校以外で話す機会が無い**

Q. 学校以外で英語を  
話す機会はあるか？

あまりない・ない: **76.7%**※

## 学校の課題(先生ヒアリング)

### 課題1: **個別最適化**された学びが必要

- ・それぞれの英語レベルに応じた学習の機会を提供したい
- ・教科書や授業で扱ったことを起点に各生徒が発展的に学習を進めてもらいたい

### 課題2: 生徒の**意欲**を向上させたい

- ・英語を好きになって、自己学習の習慣づけを行ってほしい
- ・英語を話す、使うことの楽しさに気付いて将来に役立ててほしい

### 課題3: 先生の**負担**を減らしたい

- ・授業準備の負担を軽減しつつ、生徒の英語を話す機会を増やしたい
- ・授業や教科書と連動した効率的な授業を提供したい

## 課題解決のための活用事例

### A校 狙い:【英語を好きになる動機付け】【興味関心を高める】【個別最適化】【学習意欲向上】

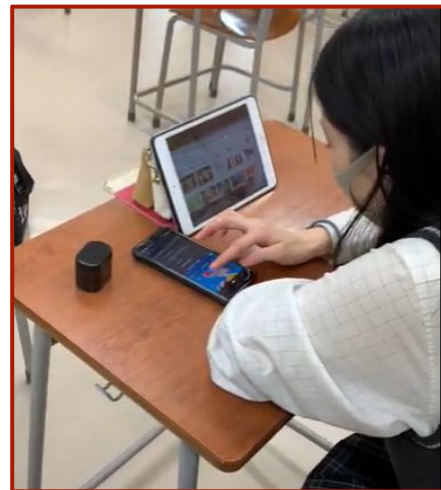
- ・自分の好きなキーワード(気になるニュース、趣味、部活、英語以外の教科の授業で扱った内容など)で動画を検索して、レベル興味関心に合った学習を授業内だけでなく授業外でも行った。興味関心に基づき、適切なレベルの動画で学習を行っているので、学習のモチベーションを授業内外で高く保ち自主的な学習を促した。
- ・動画を学習すると貯まるポイントのランキングでクラス内や全世界のユーザーと競わせ、生徒のモチベーションを高めた。
- ・総合の時間で、SDGsをテーマとした授業の導入として先生から与えられたキーワードで生徒一人一人が動画を検索し、各自がそれぞれ動画で学習を行い、そこで学んだ異なる内容をグループで共有した。



## 課題解決のための活用事例

### B校 狙い:【個別最適化】【学習意欲向上】

- ・生徒が通常先生にしか付与されない教師ツールを使用することで、自分たちで学習を管理する客観的な視点を養った。  
その視点を元に自らが主体的に且つ効率的に学習を行う方法を模索、提案することで、英語に限らず、その他の教科においても必要な主体的な学びに向かう力を育てるためのきっかけとした。
- ・自分たちの学校だけでなく、全国の学校における EnglishCentralの効果的な使い方に関して、メリット・デメリットの双方の視点を持って考え、プレゼンテーション形式で発表した。



## 課題解決のための活用事例

### C校 狙い:【興味関心を高める】【先生の負担軽減】

- ・授業内の15分間で、帯活動として生徒各自で動画学習する時間を設け、単語学習、スピーキング練習を行った。動画の種類は先生が指定してクラス共通で同じものを学習させる場合や、生徒各自の好きなものを学習させる場合があった。
- ・授業で著名人のプレゼンテーション動画を学習し、リスニング力や単語力、スピーキング力を高めつつ、身振り手振りや抑揚、スライドの効果的な活用方法も含めたプレゼンテーションの方法も同時に学んだ。
- ・動画に付属している教材を基に作成した英語の穴埋め問題を生徒に出題し、回答させた。スクリプトの文字起こしなど、教材を用意する時間が不要になり先生の負担が大幅に減った。





## 課題解決のための活用事例

### D校 狙い:【英語を話す機会を増やす】【先生の負担軽減】

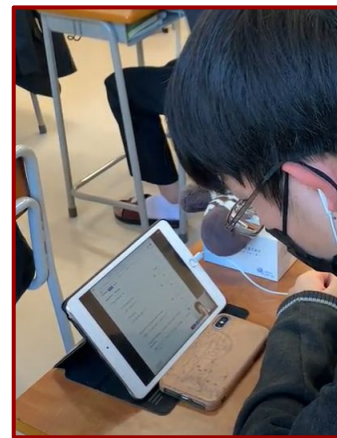
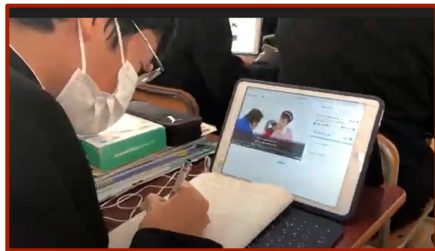
- ・教科書の内容をそのまま学習できる NewCrownコースを利用し、スピーキングも含めて「道案内」について等の教科書の内容に準拠した学習を行った。学習履歴は全て記録されているので、各生徒の学習の進捗の把握が非常に容易になった。
- ・リスニング力や単語力を養うだけでなく、リーディング力も高めるため、日本語字幕を外して英語字幕のみ表示される形で学習を行った。さらに、生徒自身で日本語に翻訳する授業も行った。



## 課題解決のための活用事例

**E校** 狙い:【英語を好きになる動機付け】【興味関心を高める】【英語を話す機会を増やす】【個別最適化】【学習意欲向上】

- ・生徒それぞれが、好きな動画を視聴し、レベル興味関心に応じて単語の学習、スピーキング練習を行った。
- ・オンライン英会話の事前学習を動画で行い、その動画をテーマとしてオンライン英会話を行うことで、話し合う話題の理解、語彙の理解、スピーキングの事前練習をしっかりと行った状態にし、オンライン英会話を効果的なものにした。
- ・生徒の好きなトピックを豊富な動画から選ばせ、その動画の内容でオンライン英会話を行うことで、先生に指定された生徒個人が興味を持つことが難しい可能性のあるテーマで話し合う形ではなく、個々人がそれぞれ興味を持てる内容を話し合う、という本来のコミュニケーションに近い形のオンライン英会話を行った。
- ・講師からチャットやスクリーンのシェアで理解の手助けをしてもらいつつ、1対1のオンライン英会話を行い、段階的に英語を話せるようになるような英語を話す機会を増やした。
- ・クラス内のランキングで競い合うことで、モチベーションを高く保ちながら学習した。



## 課題解決のための活用事例

**F校** 狙い:【興味関心を高める】【英語を話す機会を増やす】【個別最適化】【先生の負担軽減】

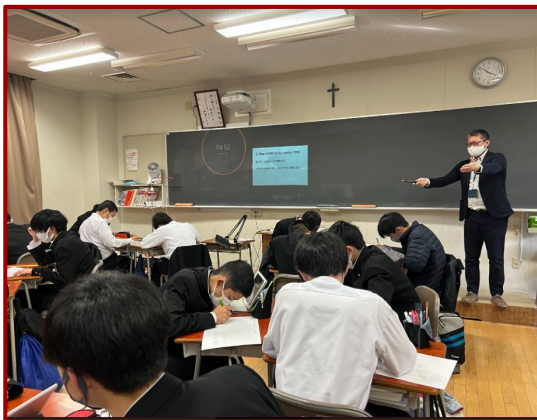
- ・EnglishCentralのSDGsコースを利用して、SDGsのそれぞれのゴールの理解を実際の取り組みを知ることも含めて深めた。
- ・動画に出てきたキーワードで検索を行い、検索結果として出てきた他の動画も学習することでテーマの理解を深めた。
- ・リサーチしたものをプレゼンテーション形式で発表するために、その効果的な方法を動画で学び、プレゼンテーションの実践の参考にした。
- ・生徒の英語学習へのモチベーションを高く保つために、生徒各自が興味や関心のある動画を学習する時間を授業内に設けた。



## 課題解決のための活用事例

**G校** 狙い:【興味関心を高める】【英語を話す機会を増やす】【個別最適化】

- ・動画学習で得られるポイントをペアで競争させながら、セリフを多く発話させ、モデル音声に近い発話を自発的に多く行う機会を作った。
- ・グループに分かれ、自分が学習した動画で学んだことをそれぞれ話し合った。
- ・動画で学んだことをリテリングし、英語の4技能を効率的に育成することだけでなく、伝える内容を的確に把握し伝える力を養った。



## 課題解決のための活用事例

H校 狙い:【興味関心を高める】【個別最適化】【学習意欲向上】

- ・授業内や、授業外で自分の興味関心に応じた動画で学習を行った。
- ・探求学習として、検索で見つけた EnglishCentralのコースや動画を学習することで、教科書の枠組みをこえた知識を増やしたり、疑問の発見や解決に役立てた。
- ・クラス内ランキングを活用し、生徒同士でポイントを競争させることで動画学習への意欲を高め、継続的な学びに繋げた。
- ・保護者と生徒が動画学習を一緒に取り組み、そこで得た知識や話題を共有することで、生徒や学校の取り組みの保護者の理解を深め、家庭での学習を促進した。



## 課題解決のための活用事例

I校 狙い:【興味関心を高める】【英語を話す機会を増やす】【個別最適化】

- ・教科書のトピックにあった、「レストランでのやり取り」について関連動画を検索して学習を行い、教科書の内容から派生した 学習を行い扱われているテーマの理解を深めた。
- ・事前に先生に割り当てられた授業に関連する動画での事前学習を基にお互い英語で会話をするペアワークを行った。
- ・一連の学習をした後に再びEnglishCentralの「話す」を活用しスピーキングを行い、自分の発音の得意、不得意を可視化フィードバックで把握した後、反復して発音練習を行うことで、先生の手助けなくスピーキングの改善を個別に行った。



## 補助事業において実施したサポート内容

### ★訪問サポート、またはオンラインサポート★

- ① 生徒 / 先生向けのツール操作説明・実践
- ② 各学校の課題に応じた使い方の提案
- ③ 本サービスを使用した授業の見学



EdTech導入補助金2021における導入実績

学校等設置者と学校等教育機関の参加数	
学校等設置者数	9団体
学校等教育機関数	11校





## EnglishCentralのツールとしての効果(生徒調査より)

動画で学習を行う機会を提供して英語を学習しやすくする

**61.0%**※が動画での英語学習を望んでいる 比較(文字:20% 音声:16.8%)

EnglishCentralは生徒が望む「動画」での学習を提供し、英語を好きになるため、身近に感じるための動機を与えられた

段階的な学習により英語を話せるようにする

動画学習のステップを段階的に踏み、最後にスピーキングのアウトプットを行う

EnglishCentralを利用したことで、話せるようになったと感じた生徒が **86.7%**※いた

【EnglishCentralを使うと話せるようになると思う理由】

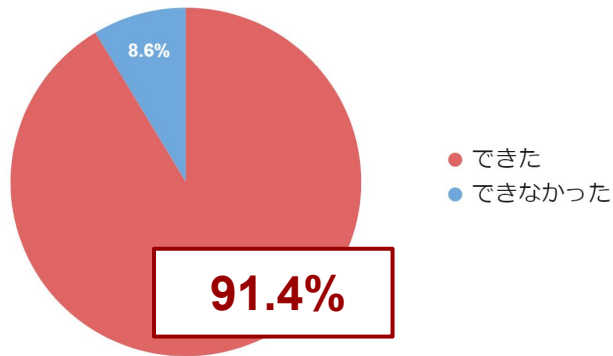
1. 動画が面白くて分かりやすい!
2. 興味のある分野で学べる!
3. スピーキングの練習ができる!
4. 発音もスペルも覚えられる!

## EnglishCentralのツールとしての効果 (生徒調査より)

詳細にレベル分けした学習の提供により**個別最適化**を実現する

**91.4%**がEnglishCentralで**自分の英語のレベルに合った学習**を行うことができた

【EnglishCentralで自分の英語のレベルに合った動画を見つけることができましたか？】



※1週間に1時間以上 EnglishCentralで学習した生徒の内の 83名を対象

【CEFRなどに応じた動画のレベル分け】



学習レベルを選択してください

中級  
レベル 3 **あなたのレベル**

3 該当レベルに関連するテストスコア

IELTS <4	TOEFL 32 - 59	TOEFL_IJT 45 - 55
TOEIC 225 - 545	CEFR A2	EIKEN 3

5 このレベルでは、次のことを学習します

- 人や場所、経験を説明する
- 人の性格を説明する
- 好き嫌いの例をあげる
- 電話のやりとり
- 情報を繰り返し、明確にする
- 簡単な比較をする
- ホテルにチェックインする
- 道案内のやりとり
- 強い感情を表現する

進む

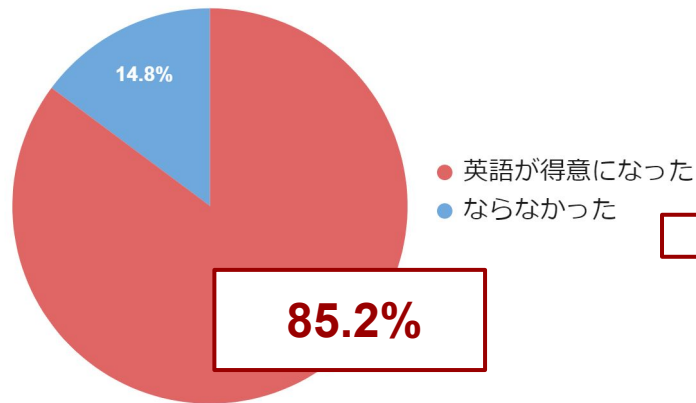
## EnglishCentralのツールとしての効果 (生徒調査より)

英語が**得意**と感じてもらい、英語への**意欲**を向上させる

**85.2%**※の生徒がEnglishCentralを使って**英語が得意になった**

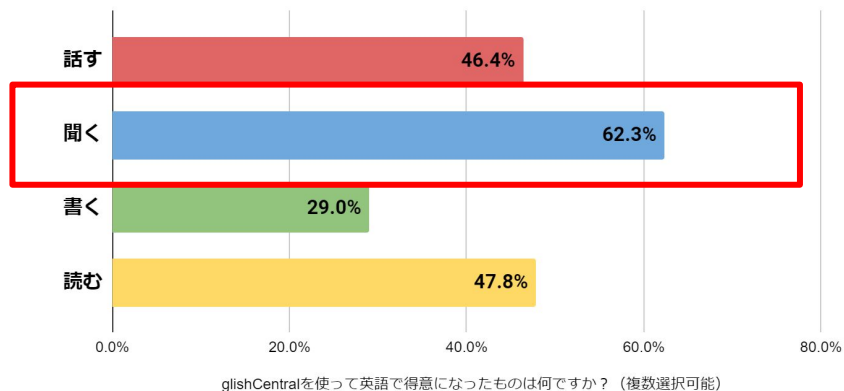
また、4技能の中でも「**聞く**」能力が**得意になった**と答えた生徒が最も多かった

【EnglishCentralを使った英語が得意になりましたか？】



※1週間に1時間以上 EnglishCentralで学習した生徒の内の 83名を対象

【週1時間以上利用があり、英語が得意になった生徒の内訳】



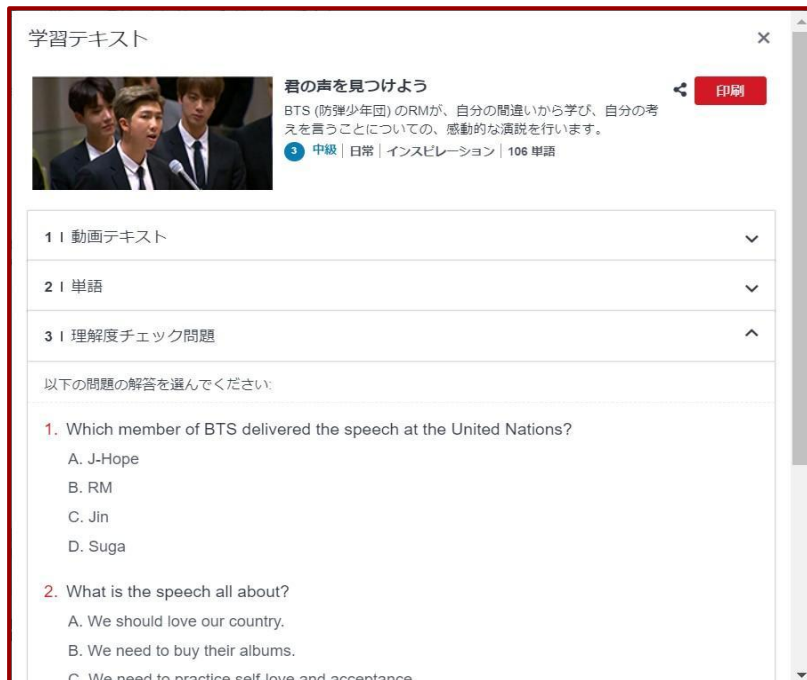
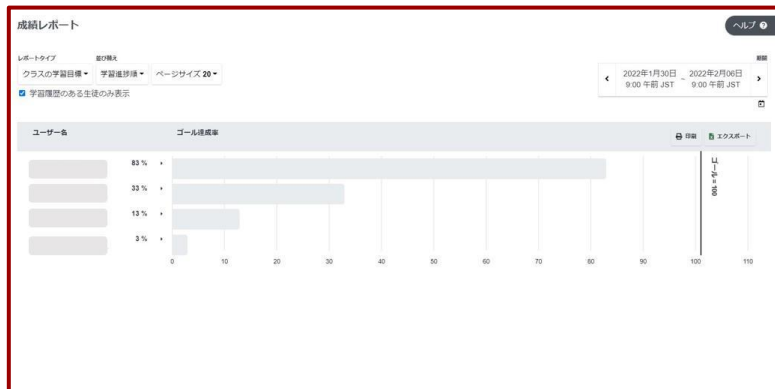
glishCentralを使って英語で得意になったものは何ですか？ (複数選択可能)

## EnglishCentralのツールとしての効果(先生コメントより)

教師ツールで管理業務を簡略化し、先生**負担**を減らす

先生たちから**負担**を**軽減**できたとの声

- ・授業に関連した動画を先生がクラスに割り当て
- ・教材を自作する代わりに動画の学習テキストを使用
- ・教師ツールで簡単に詳細な生徒の学習進捗度を管理



学習テキスト

君の声を見つけよう  
BTS (防弾少年団) のRMが、自分の間違いから学び、自分の考えを言うことについての、感動的な演説を行います。  
3 中級 | 日常 | インスピレーション | 106 単語

印刷

- 1 | 動画テキスト
- 2 | 単語
- 3 | 理解度チェック問題

以下の問題の解答を選んでください:

1. Which member of BTS delivered the speech at the United Nations?  
A. J-Hope  
B. RM  
C. Jin  
D. Suga
2. What is the speech all about?  
A. We should love our country.  
B. We need to buy their albums.  
C. We need to practice self-love and acceptance.

## 生徒のコメント感想 ( 課題別 )

### 【英語を好きになる動機付け】

- ・完璧な英語じゃなくても良い、というのがわかった。伝わると嬉しい。
- ・GoLive!は最初は怖かったけど、1回やってみたら先生も優しくて楽しかった。次回も受けたい。

### 【段階的で効果的な学習】

- ・テレビで英語が流れたとき、何を言っているかなんとなく聞き取れるようになった。

### 【興味関心を高める】

- ・自分で動画を選べるのが楽しい。

### 【英語を話す機会】

- ・発音練習用の動画もあるし、アプリに向かって話せるのが良い。



## EnglishCentralのツールとしての効果まとめ

- ① ほとんどの利用者がEnglishCentralで**各自の興味・レベルに合った学習**を行うことができた。
- ② ほとんどの利用者がEnglishCentralを利用することで**英語が得意**になった。
- ③ 4技能満遍なく得意になっているが、中でも**リスニングが得意になった**、との意見が多かった。
- ④ ほとんどの利用者がEnglishCentralを利用することで**英語が話せるようになる**と感じている。
- ⑤ 先生たちから**負担を軽減**できたとの声

### 【上記成果が得られた要因の分析】

- ★ 興味を持てる、レベルを網羅した豊富な動画
- ★ 適切なスピーキング判定
- ★ 学習のしやすさ
- ★ 動画とオンライン英会話での英語を活用する豊富な機会
- ★ 全ての動画に教材がついている

## 先生のコメント感想（課題別）

### 【授業内容から連動して個別最適化学習へ】

- ・教科書の内容の学習だけでなく、発展的にも学習させることができる。授業との連動もしやすい。

### 【学習意欲向上】

- ・学習を進めるとポイントが貯まる+ ランキングで競い合えるのでモチベーションを上げることができる。
- ・強制しなくても隙間時間に学習している生徒が多い、YouTubeの代わりにEnglishCentralを見ている。

### 【先生の負担軽減】

- ・先生たちの負担も軽減できると思う。活用方法を他の先生にも教えたい。

### 【その他】

- ・どの動画を学習したか、GoLive!はどうだったか等、生徒とのコミュニケーションが生まれる。

## 当補助金事業におけるEnglishCentralの導入・運用における課題と改善策

課題	改善策
年度途中の利用決定・利用開始の場合、授業や成績評価に組み込むのが難しい(当補助金事業の性質の課題)	年度開始前に利用を決定し、年間カリキュラム、成績評価に組み込む
EnglishCentralは一斉教授型、問題演習型の授業を置き換えるツールではなく、アウトプット中心、協働学習など、新しい授業形態が可能になるツールなので、慣れない先生の利用が難しい(ツールの性質)	導入校の目指すところ、状況、カリキュラムなどを聞き取り、各学校の状況に応じた使い方提案をより積極的に行う。利用に前向きでない先生へのサポート、提案もより積極的に行う
学校でのデバイス設定や通信環境により適切に利用できないことがある(利用環境)	導入前に、利用に必要な環境設定が適切に行われているか、導入先校への確認を強化する
タブレットの持ち出し許可をしていない学校では学校外の学習を行うことができない(デバイス利用のルール)	各学校、教育委員会でタブレットなどの端末の持ち帰りでの利用を検討してもらう
学校ごとの利用率の差が大きい(学校間の差異)	詳細は次ページをご覧ください



## 学校ごとの利用率の差が大きい原因・改善策

全体での利用率の低かった学校は、利用率の高かった学校よりも**クラス間での利用率の差**が大きかった。

→ **担当する先生の利用率の差**が原因ではないかと推測できる。

### 担当する先生によって利用率に差が生じる理由の推察

- ・先生がEdTechツールの利用自体に積極的ではない
- ・先生がEnglishCentralの利用に積極的ではない

### 改善策

#### ・簡単に使えることの強調

(マニュアル、チュートリアル動画の充実、テンプレート化された授業への取り込み方法への容易なアクセス)

#### ・使うことによる**学習効果、負担軽減**を感じてもらう

(まだ一般的ではない個別最適化、アウトプット中心、協働学習が可能になること、生徒が英語を学習する意義を感じることで、生徒の学習意欲が高まること、生徒の英語力が向上すること、先生の負担が大幅に軽減されること、など)

## 導入実績

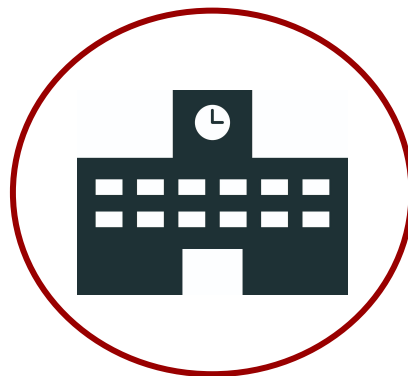
ユーザー数(グローバル)

**800万人以上**



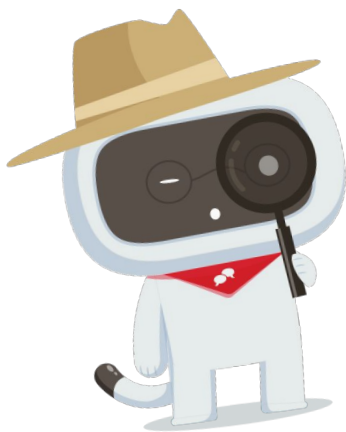
導入学校等教育機関数(全国)

**400校以上**



企業導入数(グローバル)

**300社以上**



★高等教育 **5万人**以上、中等教育 **5万人**以上★

EnglishCentralは一般ユーザーのみならず、国内外の各学校等教育機関、企業・組織に多数ご利用頂いています！

事業者情報・お問い合わせ先

事業者情報

設立	2009年9月
代表者	松村弘典
住所	東京都台東区花川戸1-2-6 ナカデンビル4F
URL	<a href="http://www.englishcentral.com/">http://www.englishcentral.com/</a>

お問い合わせ

メール	<a href="mailto:sales-ja@englishcentral.com">sales-ja@englishcentral.com</a>
電話	050-3802-3236 (平日10時～18時)